

米子自衛防火協会

会報

平成23年3月

第60号

米子自衛防火協会事務局

米子市西三柳 5452 番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課内
TEL0859-35-1970

印 刷 所 東京印刷株式会社



春の火災予防運動

3月1日から3月7日まで

「消したかな」あなたを守る 合言葉

(全国統一防火標語)

【西部消防局重点目標】

【全国一齊重点目標】

- ① 住宅防火対策の推進
 - ② 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
 - ③ 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ④ 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - ⑤ 林野火災予防対策の推進
- 【西部消防局実施概要】
- ① 住宅用火災警報器の設置推進
 - ② 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ③ 自主防災組織等と連携した地域の防火・防災安全対策の推進
 - ④ 住宅用火災警報器の共同購入の推進
 - ⑤ 各地域における設置促進活動
 - ⑥ 特定防火対象物等の立入検査
 - ⑦ 自主防災組織等と連携した地域の防火・防災安全対策の推進
 - ⑧ 各種消防演習
 - ⑨ 防火広報
 - ⑩ 防火パレード
 - ⑪ 消防車両・防災無線・広報誌による防火広報
 - ⑫ 防火講話
 - ⑬ 各種訓練、防火指導
 - ⑭ その他
 - ⑮ 園児を対象とした防災教育

会務中間報告

（新年役員会を開催）

去る1月25日皆生グランドホテル天水において、米子自衛防火協会並びに米子市危険物保安協会合同の新年役員会が開催されました。その会議の席上で報告された、平成22年4月から12月までの会務中間報告の内容は次のとおりです。

1. 調査研究の部
先進地視察研修
株式会社モリタ 二三田工場
2. 新規採用職員防災研修会（101名参加）
大阪ガス ガス科学館（18名参加）
3. 会報発刊の部
第59号作成配布（8月）
4. 防災ビデオ・DVDの貸し出し
防災DV-D購入
5. 会議の部
正副会長会議
定期総会、役員会
6. その他
各種講習会の図書斡旋
甲種防火管理資格取得講習（3回）
消防管理再講習（55名参加）
自衛消防業務追加講習（8名参加）
208名参加

先進地視察研修

記録的な猛暑が続く真っ只中の平成22年9月3・4両日、両協会合同の先進地視察研修に事務局一員として参加させていただきました。このたびの主視察地は遷都1300年の都平城京、最初の視察地は三田市の株モリタ、消防車の艦装工場です。我々火消しの一番の商売道具製造工場で、徹底した管理の上、仕上がる車両に安堵感を覚えました。当地の阪急ホテルでの昼食



防災ビデオ・DVDの貸し出しについて

当協会で購入した防災ビデオ・DVDの貸し出しを随時行っております。各事業所の防災教育の一環としてご活用ください。

なお、ビデオ・DVDの一覧表を当協会のホームページに記載しておりますのでご確認ください。

<http://www.yonago-jieibouka.jp.org/jb/>

消防防災DVDを購入

- あさりちゃんの火の用心（アニメーション）
- いのちを守る 病院火災の初期対応

人の大きい息吹を感じました。
ご参加いただきました協会員の皆様には充実の2日間になつたのでしょうか、関係各位のご配慮に感謝しつつ帰米の途につきました。
（事務局・消防司令 吉田 誠）

を済ませ今度は泉北に移動、大阪ガスの供給基地ですが工場内をガイドつきバスによる視察で広い敷地を隅々まで見学でき、海外からのLNGタンカーが丁度横付けしておりその大きさには全員びっくりさせられました。宿泊はみなみの繁華街、足を引きづりながらチェックインを済ませ、夕闇が迫ると少し元気が回復、懇親会では視察先の話で盛り上がりました。2日目はいよいよせんとくんとの遭遇です。期待と暑さへの不安が交錯するなか出発、朝の予報で愛知県

は38度になる模様とのこと、当地奈良の都も会場は日陰もなく相当の覚悟が必要。朱雀門、大極殿と広大な会場を徒歩で移動する。あまりの酷暑に背中を汗が伝う。この偉大な忠実に復元された建築物には驚かされるばかり、規制がない時代に現代にも勝る作品が堂々と建立される、先

住宅用火災警報器設置義務化

全面施行まで 残り3ヶ月！

住宅用火災警報器の設置期限（平成23年5月31日）まで残り3ヶ月となりました。

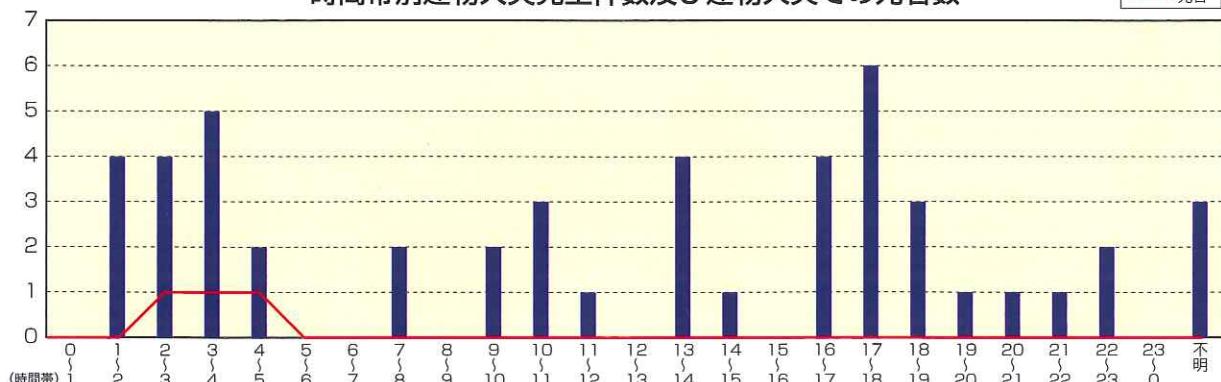
西部消防局管内でも最近自治会からの共同購入についての問い合わせが増えており、普及率も徐々に向上していると考えられますが、全戸設置まではなかなか至りません。

住宅火災による死者の多くは逃げ遅れによるもので、その殆どが就寝時間帯に起きています。今年に入ってからもすでに、管内において3人の尊い命が就寝時間帯に失われました。

万が一火災が発生したときは、「早期発見」、「早期避難」が重要となってきます。会員の皆様の中でまだ警報器を取り付けてない方がおられましたら、1日も早く設置していただきますようお願い申し上げます。

**平成22年中の西部消防局管内における
時間帯別建物火災発生件数及び建物火災での死者数**

■ 建物
— 死者



★住宅用火災警報器の奏功事例

- 居住者が就寝中、父母が居住する離れから出火したもの。母屋に設置していた住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、119番通報を行い、父母を無事避難させ、水道水をバケツに汲み、消火した。
- 夫（70代）と重度障害者の妻が、2階寝室で就寝中、1階リビングから出火したもの。夫が階段に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気付き、妻をベランダに避難させた後、水道水で消火した。警報音に気付いた近隣住民が、119番通報を行った。
- 一人暮らしの高齢者の男性が、こたつに入ってたばこを吸いながら、寝てしまったため、出火したもの。住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、消火した。こたつ布団を焦がしてしまった程度で済んだ。

米子自衛防火協会では、住宅用火災警報器の普及率の向上を目的とし、事業所や自治会を対象とした共同購入に関する相談窓口を設けております。

警報器の手配に困っておられる方は、当協会までお気軽にご相談ください。

大規模災害に備えて ~西部消防局に支援車を配備~

大規模災害時に出動する緊急援助隊の活動拠点となる「支援車」が、鳥取県西部広域行政管理組合消防局に配備されました。

車内には、シャワー、トイレ、ベッド、厨房設備などを備え、最大26人の隊員が数日間滞在できるようになっており、緊急消防援助活動、水難救助事故など、長時間に及ぶ過酷な活動を強いられる消防隊員の活動をサポートすることができます。



平成22年中の西部消防局における火災の概況

平成22年中の火災件数は76件で、前年の100件に比べ24件の大規模な減少となっており、これは西部広域消防発足以来最も少ない火災件数です。

出火原因の第1位は「こんろ」で10件、6年間出火原因の第1位だった「放火（放火の疑い含む）」は8件で本年は第2位でした。以下「たき火」「たばこ」の順になっています。

火災による死者は4人で、前年より2人増加しています。4人のうち3人は建物火災によるもので、夜中の2時から4時に発生しています。このうち1人は65歳以上の高齢者でした。死亡原因については、2人が逃げおくれ、2人がその他となっています。負傷者は15人で、このうち8人が65歳以上の高齢者の方でした。

今後、住民に対する出火防止のための啓発とともに、万一火災が発生した時に、早期発見と早期避難ができるよう、住宅用火災警報器の設置を促進していくことが重要と考えます。

火災の状況		火災の原因	
	平成22年	平成21年	平成22年
火災件数（件）	76	100	第1位 こんろ 10件
建物火災	49	54	第2位 放火・放火疑い 8件
林野火災	3	4	第3位 たき火 7件
車両火災	6	8	第4位 たばこ 6件
船舶火災	1	0	第5位 電気機器 2件
その他火災	17	34	
損害額（千円）	187,017	190,100	
死者（人）	4	2	
負傷者（人）	15	15	



◆ 消防設備士試験	
第1回	甲種（特類、1～5類）
試験日	平成23年7月31日（日）
受付期間	（書面申請）6月6日～6月20日
（電子申請）6月3日～6月17日	
第2回	甲種（1～4類）
試験日	平成23年12月4日（日）
受付期間	9月16日～9月30日

◆ 甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習（併催講習）	
第1回 講習日	平成23年5月11日（水）～12日（木）
受付期間	4月14日～4月28日
第2回 講習日	平成23年9月15日（木）～16日（金）
受付期間	8月22日～9月2日
第3回 講習日	平成23年12月1日（木）～2日（金）
受付期間	11月7日～11月21日
第4回 講習日	平成24年3月13日（火）～14日（水）
受付期間	2月20日～3月5日
◆ 危険物取扱者試験	
第1回	甲種、乙種、丙種
試験日	平成23年6月12日（日）
受付期間	（書面申請）4月11日～4月25日 （電子申請）4月8日～4月22日
第2回	甲種、乙種、丙種
試験日	平成23年11月6日（日）
受付期間	（書面申請）9月12日～9月26日 （電子申請）9月9日～9月23日
第3回	乙種
試験日	平成24年2月5日（日）
受付期間	（書面申請）11月28日～12月12日 （電子申請）11月25日～12月9日

会費納入のお願い

寿通信工業有限会社

新会員の紹介

本年度も残りわずかになりました。まだ会費を納められていない事業所の方は、早急に納入していただきますようご協力お願いします。
なお、ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。
電話（0859）35-1970